

デーリー東北

2026年(令和8年)8月19日(水曜日) (18)

「時代が求める人材輩出」

学部学科改組の八戸工業大

八戸工業大(船崎健一学長)は2024年4月に3学部3学科へ改組し、プログラム制を導入する。併せてキャンパス改修も実施する。18日、学内で記者会見した船崎学長はこれらの取り組みについて「大学改編」と強調し、「時代が求める人材を輩出する」と意欲を語った。(同屋敷萌)



八戸工業大学
学部への改編に関する記者会見

大学改編について説明する船崎健一学長
11月18日、八戸市の八戸工業大

キャンパスも改修、「大学改編」強調

新たに設置するのは「総合情報学部総合情報学科」「先進工学部先進工学科」「デザイン工学部デザイン工学科」で、定員は各100人。現在のコース制は廃止し、より分野横断的な学びが可能なプログラム制を導入する。

従来の土木や自動車、建築などに加え、人工知能(AI)やロボット、航空宇宙など学生の多様化するニーズに合わせた13のプログラムを用意する。2年時に主となるプログラムを選択するが、他プログラム科目の履修も可能という。

また、学部学科の改組に合わせてキャンパスも整備。3学部旗艦となる建物を定め、集中的に建物の改修や設備の導入を進める。改修は27年度末までに、ほぼ完了する見込み。

会見で船崎学長は「現在の工学的な大学から、総合的で分野横断的、文理融合的な理工学系の大学に変え

ていきたい」と大学改編の狙いを説明した。同大では近年、定員割れの状況が続いているが、教育内容の見直しや施設整備により、学生一人一人の自己実現の支援に一層力を入れていく姿勢を強調。「学生に寄り添い成長を支えていけるよう取り組んでいく」とアピールした。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。